

2020年度業務実績報告書

提出日 2021年 1月 18日

1. 職名・氏名 講師 上木 礼子

2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井大学、授与年 2005年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 看護学原論Ⅱ（2単位 1年後期）
②内容・ねらい（自由記述） 内容:古代から現代まで、看護の歴史と変遷、現代の課題を概説した。「看護」はどのように専門性を発展してきたか、アートとサイエンスの視点も入れて理解することをねらいとした。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オンライン(zoom)での講義であったので、45分で区切って休憩を入れる、適宜指名して質問するなど、集中力が途切れにくい進行を心掛けた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護技術Ⅰ（2単位、1年前期（分担）、基礎看護技術Ⅱ（2単位、1年後期（分担）、基礎看護技術Ⅲ（1単位、2年前期（分担）、フィジカルアセスメント(1単位、2年前期（分担）
②内容・ねらい（自由記述） 内容：看護技術Ⅰは運動と休息の項目。看護技術Ⅱは排泄の項目。看護技術Ⅲは呼吸・循環の項目を担当した。フィジカルアセスメントでは腹部のアセスメントを担当。ねらい：受講生がすでに学習している解剖・生理と関連して、根拠を踏まえた看護技術の基本が理解できる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・後期の技術Ⅱ「排泄」を除いてすべてオンライン(zoom)講義であったので、Educational Video Onlin 等の動画教材を利用して、少しでも実際のイメージを付けてもらうことを心掛けた。後期の対面授業開始のタイミングで、前期学修技術の演習、バイタル測定の実技テスト等集中して行った。また学生の実技練習にも指導協力した。
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅰ（1単位、1年後期（分担）・基礎看護学実習Ⅱ（2単位、2年前期（分担） 看護マネジメント実習（2単位、4年前期（分担）
②内容・ねらい（自由記述） 内容：県内総合病院での臨床看護実習 ねらい：基礎看護学実習Ⅰでは医療施設、看護師の役割を理解すること、基礎看護学実習Ⅱでは、受け持ち患者に対して看護過程の展開ができること。看護マネジメント実習では病院組織における看護管理とケア提供システムの運営について実際を通して理解すること。
② 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） ・いずれの実習も新型コロナウイルス感染の不安が高まる状況での実習であったため、感染予防に十分留意しながら実施した。 ・その状況でも、患者さんとや担当看護師とのかかわりを通して学習目的が達成できるよう支援した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位、4年次）
②内容・ねらい（自由記述） 内容：看護研究へ自律的に取り組み成果を発表する ねらい：研究的態度、基本的な研究の進め方を実践を通して学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

- ・ 本年度はコロナ禍の中、研究計画書までをゴールするという対応であったので、学生が実施できる内容も限られており、手探りで進めていった。モチベーションを損なわないよう多角的な見方を提示しながら進めていった。
- ・ ほぼオンラインでの指導であったことと、図書館等の利用が制限された状況での卒業研究であったので、ネットやTV放送など利用できるリソースを柔軟に提示しながら、研究的態度を涵養することを心掛けた。
- ・ 進捗状況に関わらず、毎週オンラインでミーティングをするなど、孤立感や不安感を和らげるように心がけた。

(2)その他の教育活動

内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし） 福井県における外国人患者受け入れに対する医療機関の現状と課題、 <u>上木礼子</u> 、Sakka Lorraine、大川洋子、福井県立大学論集 第55号 掲載予定(学術資料)	【1本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
看護学科カリキュラム検討委員会
(3)学内行事への参加
オープンキャンパスオンライン 2020 模擬授業「たかが検温、されど検温」担当 Zoom ミーティング(リアルタイム配信) 担当
(4)その他、自発的活動など